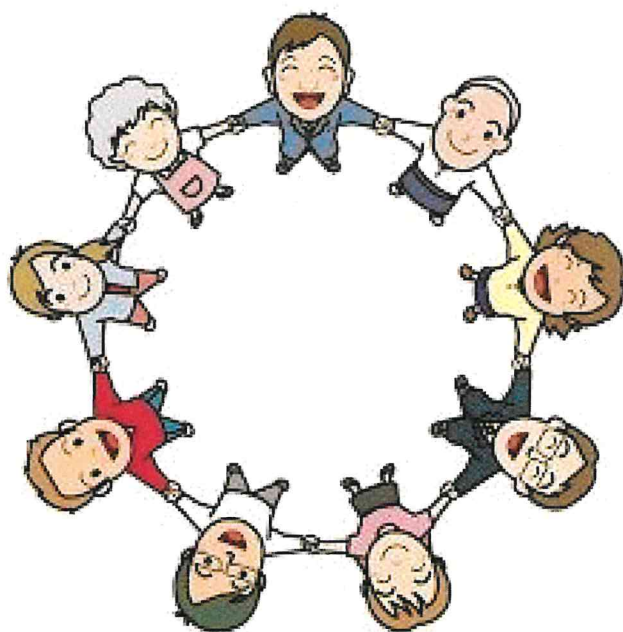


みんながつながる
支え合い・助け合う三和をつくろう

平成30年度 事業報告
2019年度 事業計画



2019年5月
三和地区社会福祉協議会

【運営】

1. 会議等（地区社協の運営に関する事項の検討）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	平成30年度実績	2019年度の取り組み
役員会	地区社協事務局	継続	<ul style="list-style-type: none"> 理事会及び総務会に付議する事項 地区社協の事業運営の調整に関する事項 その他必要な事項 ●開催日：毎月第3木曜日9：30～	<ul style="list-style-type: none"> 運営について精査・充実を図る 高齢者事業に関する体制を検討 	【取り組み状況】 ・計12回開催 参加者133名	<ul style="list-style-type: none"> 毎月第3木曜日開催 部会への情報提供、強化 地区社協のマネージメント発揮
総務会	地区社協事務局	継続	<ul style="list-style-type: none"> 理事会に付議すべき事項 地区社協の事業運営に関する事項 理事会の決議で委任された事項 その他必要な事項 	<ul style="list-style-type: none"> 運営の内容について継続 	【取り組み状況】 ●第1回 5月16日15名 ●第2回 6月15日18名	<ul style="list-style-type: none"> 年2回開催
理事会	地区社協事務局	継続	<ul style="list-style-type: none"> 規約の制定及び改廃に関する事項 役員改選に関する事項 事業計画及び予算に関する事項 事業報告及び決算に関する事項 その他重要事項 	<ul style="list-style-type: none"> 運営の内容について継続 	【取り組み状況】 ●第1回 5月26日45名 ●第2回 6月30日44名	<ul style="list-style-type: none"> 年2回開催

【事業】

1. 向こう三軒両隣で支え合える地域づくり（地域づくり部・ネットワーク部・広報部）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	平成30年度実績	2019年度の取り組み	
ふれあいの場、仲間づくりの場の推進（ふれあいサロン事業）	子育てサロン	地域づくり部	子育て家庭の親子を対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、育児に関する不安や悩みを解消するために開催。 ●子育てサロン「さんわぼかぼか」 ・開催日：毎月第2水曜日10:00～11:30（8,1月休み） ・会場：三和保健福祉センター プレイルーム	<ul style="list-style-type: none"> 季節行事、知育玩具等を取り入れ、参加者が楽しめるふれあいの場になるよう努める。 子育てネウボラセンター（子育て支援制度）の活動に協力し子育て家庭親子の支援に努める。 	【取り組み状況】 ・参加者293名、支援者145名 ・平成30年度はじめてハロウィンパーティーを実施。（参加者94名） 【課題等】 ・サンハート児童館と開設日と日程が被っている	<ul style="list-style-type: none"> 開催日を毎月4月曜日に変更し実施。（8,1月は休み） ●子育てサロン「さんわぼかぼか」 開催日：毎月第4月曜日10:00～11:30（8,1月休み） 会場：三和保健福祉センター プレイルーム 	
	いきいきサロン	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「茶話会」を開催。 ●茶話会 ・開催回数：年数回 13:30～15:00 ・会場：福増公民館	<ul style="list-style-type: none"> 会場数を増やすとともに、自主運営ができるような体制を検討する。 	【取り組み状況】 ・市西地区：福増町会（11/17）17名参加 ・養老地区：川在町会（10/15）27名参加 二日市場町会（2/16）33名参加 ・海上地区：分目町会（7/29）24名参加 【課題等】 ・「通いの場」と目的、実施内容が重複している部分が多い。	<ul style="list-style-type: none"> 2019年度は休止。 「月1回の通いの場」から「週1回の通いの場」への移行状況を踏まえ、今後の実施を検討する。
			海上小学校区小域福祉ネットワーク	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「茶話会」を開催。 ●茶話会 ・開催回数：年3回 13:30～15:00 ・会場：町会輪番制	<ul style="list-style-type: none"> 町会輪番制を行うことにより、地区内の高齢者が参加しやすい環境を整える。また、町会主体で自主運営ができるような体制を検討する。 		
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	一人暮らしの高齢者、高齢者世帯などを対象に、ふれあいの場や仲間づくりの場を提供し、閉じこもりを防止するとともに、生きがいづくりや健康の増進を図るために「茶話会」を開催。 ●茶話会 ・開催回数：年3回 13:30～15:00 ・会場：町会輪番制	<ul style="list-style-type: none"> 町会輪番制を行うことにより、地区内の高齢者が参加しやすい環境を整える。また、町会主体で自主運営ができるような体制を検討する。 小学校と連携し、世代間交流が図れるようなあり方を検討する。 			

高齢者の日常的な見守り活動の推進 (安心生活見守り支援事業)	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・町会と連携し、潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。	【取り組み状況】 ・市西地区 見守り対象者：63名 安心訪問員：31名 訪問回数：862回 ・養老地区 見守り対象者：39名 安心訪問員：23名 訪問回数：673回 ・海上地区 見守り対象者：20名 安心訪問員：18名 訪問回数：293回 ・光風台地区 見守り対象者：13名 安心訪問員：19名 訪問回数：290回 【課題等】 ・安心訪問員の任期がなく、引継ぎなどに支障がでる。 ・安心訪問員の後継者が不足している。 ・安心訪問員は原則2人1組で活動すべきだが、人員不足や時間調整で現実的に困難な状況がある。	・安心訪問員の任期を検討。 ・潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・町会と連携し、潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。		
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・町会と連携し、潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。		
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	一人暮らしの高齢者宅や障がい者世帯、高齢者のみ世帯を定期的に訪問し、見守り活動を行うとともに、緊急時には迅速に対応できる体制を確保し、孤立感を解消しながら地域で安心して暮らせるよう支援する。 ・安心訪問員が定期的に自宅を訪問し安否確認等を行う。	・潜在的な対象者を掘り起すとともに、安心訪問員の確保と資質の向上に努め、事業の充実に努める。 ・見守り対象者：対象制限を設けず実施		
高齢者の通いの場づくりへの取り組み (通いの場事業)	地域づくり部	新規	地域住民が「日常的に」「住んでいる地域で」「地域の方とふれあう」ことが出来る場である「通いの場」の開催を支援する。	・町会と連携し、地域住民の身近な場所で「通いの場」が開催されるよう検討し、事業の支援に努める。	【取り組み状況】 ○申請団体 21 町会 28 団体が実施。 ①市西地区：6 町会 10 団体 ②養老地区：9 町会 9 団体 ③海上地区：6 町会 7 団体 ④光風台地区：1 町会 2 団体 *参加者総数：4,261名 【課題等】 ・会場の維持管理の面において、町会に負担が生じている。	・通いの場事業に関わる自治会館(公民館)利用規約案の作成、提案 ・「週1回の通いの場」への移行を検討。	
	ネットワーク部	新規	高齢者を対象に元気を高め、健康寿命を延ばすことを目的に、気軽に立ち寄れる「参加型ふれあいサロン」を開催。 ●光風台ふれあいサロン ・開催回数：週1回 ・会場：光風台自治会館	・高齢者の健康寿命を延ばすため、週1回開催の継続実施および事業内容の充実に努める。	【取り組み状況】 ・4月～9月：22回 参加者総数 852名 【課題等】 ・参加人員の増加により会場が手狭になる傾向が見られる。	・高齢者の健康寿命を延ばすため、週1回開催の継続実施および事業内容の充実に努める。	
広報活動の充実 (広報啓発事業)	広報部	継続	広報紙「さわかせ」を親しみやすく、わかりやすい紙面で作成し、地区社協活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。 ●発行時期：8月、2月(他、増刊号は随時発行)	・「広報紙の役割や使命は何か？」という原点に立ち、読み手が興味を持つ記事内容を発行時期に合わせ検討し、定期発行の他に、増刊号は随時発行することに努める。	【取り組み状況】 ・発行：8月30日/11月7日/2月6日 ・合計発行部数 15,000部 ・今年度から各戸に配布とした。 ・広報委員会を組織化 【課題等】 ・広報として別組織を組織化した方が良い。 ・町会長に、実際に広報紙が見られているかを確認した方が良いのではないかと。町会員の中には広報紙を取らない人が多い。	●広報紙「さわかせ」の発行 発行時期：6月、9月、12月、3月	
	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地区社協広報紙「さわかせ」において、ネットワーク活動の記事を掲載し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。 ●発行時期：8月、2月	・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ、理解を深めることに努める。		
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地区社協広報紙「さわかせ」において、ネットワーク活動の記事を掲載し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。 ●発行時期：8月、2月	・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ、理解を深めることに努める。		

		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地区社協広報紙「さわかせ」において、ネットワーク活動の記事を掲載し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。 ●発行時期：8月、2月	・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ、理解を深めることに努める。		
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地区社協広報紙「さわかせ」への掲載及び広報紙「あったか地域福祉光風台」を作成し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させ理解を深め、地域福祉の増進を図る。 ●発行時期：8月、10月、2月、3月	・地区社協広報紙を活用し、ネットワーク活動を広く地域住民に周知させることに努める。併せて、より細かな情報としてネットワーク独自の広報紙にて更なる地域住民の理解を深めることに努める。	【取り組み状況】 ・発行：9月1日、3月1日 ・合計発行部数：10,000部	
交流の場、支え合い・助け合い活動の推進 (地域福祉支援事業・世代間交流)	世代間交流	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	高齢者と子どもたちの交流を通して、高齢者の知識と経験を子どもたちに伝え、相互理解を図ることを目的に実施。 ●小野山ごろご会(そうめん流し) 伝承あそび(竹馬、こま回し等) グランドゴルフ	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・小野山ごろご会 7月15日(日)179名参加 ・伝承あそび 11月9日(金)19名参加 ・グランドゴルフ 10月24日(水)23名参加	・現状の取り組みを継続
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	高齢者と子どもたちの交流を通して、高齢者の知識と経験を子どもたちに伝え、相互理解を図ることを目的に実施。 ●海上もりもり会(そうめん流し)	・現状の取り組みを継続		
地域福祉支援事業	ネットワーク部	海上小学校区小域福祉ネットワーク	新規	日本における高齢化の実情と派生する課題(少子化・2025年問題・医療問題等)をパワーポイントを用いて課題提起する。課題に基づき、参加者各自、あるべき地域福祉について語り合う。●「語る会」	・地域住民が抱える現実的な課題・要望等を把握し、提起された課題に対し、その解決策や具現化について検討。	【取り組み状況】 ・6町会で実施 137名参加	・事業充実を図り、継続実施
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	年末年始を一人で過ごす一人暮らし高齢者を対象に、町会長、民生委員、隣人の協力を得て「クリスマス料理」を宅配することで、地域における地縁等の交流の中で、新年を迎える新たな希望・喜びを分かち合い、見守りや傾聴を行うと共に、孤独感・不安感の解消を図る為に実施。●「よろろう絆の会」	・「よろろう絆の会」の事業を通じ、町会内の福祉事業の担い手を育てることに努め、事業の充実を図る。	【取り組み状況】 ・12月21日(金)配食 ・対象者29名	・事業充実を図り、継続実施
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	年末年始を自宅において一人で過ごす一人暮らし高齢者を対象に、民生委員の協力を得て「おせち料理」を宅配することで、地域における地縁やつながりのなかでお正月を迎える喜びを分かち合い、安否や体調状況を確認するとともに、孤独感・孤立感・不安感の解消を図る為に実施。	・事業の充実を図り、対象者の個人負担軽減に努める。	【取り組み状況】 ・12月31日(月)配食 ・対象者24名	・事業充実を図り、継続実施
たすけあい運動の推進 (福祉バザー、たすけあい募金)	地域づくり		継続	共同募金会「歳末たすけあい運動」への協力と、あわせて社会福祉協議会の地域福祉の推進および在宅福祉事業の強化を目指し財源確保の為、「福祉バザー」を開催。	・献品や売上げの減少、担い手不足等の課題を精査し、新たな「歳末たすけあい運動」の協力体制を検討する。	【取り組み状況】 ・11月4日開催：270,555円 (内寄付金49,900円) ・協力者：総数121名(献品10名、準備日50名、当日61名)	・継続実施 ●福祉バザー 11月3日(日)
地域あいさつ運動 (啓発看板の設置)	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	各町会にあいさつ運動の啓発看板を設置。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・継続して設置	・現状の取り組みを継続
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	各町会にあいさつ運動の啓発看板を設置。	・現状の取り組みを継続		
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	各町会にあいさつ運動の啓発看板を設置。	・現状の取り組みを継続		

2. みんなが自由に楽しく暮らせる地域づくり（生活支援部・たすけあい事業部・ネットワーク部・第2層協議体）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	平成30年度実績	2019年度の取り組み	
身近な相談窓口の設置・充実 (相談支援事業)	生活支援部	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、地区社協事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。 ●ふれあいいいききサロン事業（子育てサロン） ●たすけあい三和 ●通いの場	・現状の取り組みを継続する。また、相談内容を精査し、課題等を解決する為の取り組みに繋げる。	【取り組み状況】 ・子育てサロン及び各事業で相談に応じる。 支援者：190名 相談件数：12件 【課題等】 ・たすけあい三和や、通いの場事業で活かすことが必要である。	・継続実施。また、たすけあい三和や通いの場事業で相談に対応できる様にしていく。	
	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。 ●ふれあいいいききサロン事業（茶話会） ●安心生活見守り支援事業	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・各事業で相談に応じる。	・継続実施。
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。 ●ふれあいいいききサロン事業（茶話会） ●安心生活見守り支援事業	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・各事業で相談に応じる。	・継続実施。
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。 ●ふれあいいいききサロン事業（茶話会） ●安心生活見守り支援事業	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・各事業で相談に応じる。	・継続実施。
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	地域住民が気軽に相談出来る場として、小域福祉ネットワーク事業内で身近な相談を受け付ける。また、専門的な相談内容については、市社協または関係機関につなげる。 ●安心生活見守り支援事業 ●光風台ふれあいサロン（通いの場事業）	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・各事業で相談に応じる。	・継続実施。
住民参加型在宅福祉サービスの推進 (日常生活支援事業) (事業化・活性化推進サービス)	たすけあい事業部	継続	公的サービスでは補えない日常生活上の生活課題を解決するため、有償による住民相互による支え合い・助け合い活動を実施する。 ●たすけあい三和	・現状の取り組みを継続すると共に、課題等を精査し、事業の更なる充実に努める。	【取り組み状況】 ○全体の状況 ・作業件数：134件 ・支援人数：264名 ・支援時間：711h ・受付人数：183名 ・受付時間：1006.5h ・利用会員数：130名 ・支援会員数：82名 【課題等】 ・たすけあい三和が立ち上がって4年経過した。この1年は事業の見直し期間として、各地区のコーディネーターや支援会員から現場の声を聞き改善に望んだ。 ・コーディネーターの増員	●たすけあい三和 以下の課題等を精査し、継続実施 ・コーディネーターの増員について協議を進める。 ・無事故を継続するため、安全面の研修会を実施する。 ・通いの場合場で事業の周知案内を行う。 ・屋外作業においてもPRを検討する。 ・支援会員へ平等に仕事を割り振れるように対応する。	

	ネットワーク部	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	高齢者の買い物不便の問題を解消する為に、週一回コープ移動販売車「ふれあい便」を光風台地区内8箇所で巡回実施。その際に、民生委員の協力のもと見守り活動も実施。	・広報等を活用し、潜在的な対象者を掘り出すとともに事業の充実に努める。	・支援会員への仕事の割り振り ・PRが不足している	【取り組み状況】 ・毎週月曜日（午後）に光風台地区内8箇所で販売	
地域包括ケアシステム構築への環境整備（高齢者地域支え合い事業）	生活支援部（第2層協議体）		新規	高齢者を地域全体で支えるための仕組みづくり（地域包括ケアシステム）の構築に向けた「話し合いの場・議論の場（第2層協議体）」設置及び推進。	・高齢者を地域全体で支えるための仕組みづくりの検討。 例）コープ移動販売車「ふれあい便」、福祉施設の福祉車両を利用した買い物支援等	【取り組み状況】 ①生活支援体制整備事業（第2層協議体）の推進に向けた地域勉強会への参加 ・7月27日（金）10時～南部保健福祉センター 12名参加 ・8月8日（水）10時～南部保健福祉センター 13名参加 ・9月27日（木）10時～南部保健福祉センター 10名参加 ②第2層協議体設置・推進について、説明会 ・11月25日（日）14時～三和保健福祉センター7名参加 ③第2層協議体 ・12月22日（土）14時～三和保健福祉センター ・3月24日（日）14時～三和保健福祉センター 【課題等】 ・立ち上がったばかりで手探りの状態である。今後、2層協議体会議を重ねていき、必要な取り組みに活かしていければ良い。	●高齢者地域支え合い事業 ・第2層協議体において、「町内会における共助体制のしくみ」について検討。	
町内会における共助体制の仕組みづくり	生活支援部（第2層協議体）		新規	近隣同士の声かけ運動を行い、町会全体の共助体制につなげ、町内会での共助体制の仕組みづくりを検討する。 例）ゴミ出し、ゴミ集積場の掃除当番、回覧板届、留守宅の一時的な高齢者や幼児の見守り、宅配便の受け取り代行…等ちょっとした困りごとをお互い様で手助けする仕組み	・近隣同士の声かけ運動を推進し、各町会の実状に応じた活動の実施の検討。	【取り組み状況】 ・第2層協議体において、「町内会における共助体制のしくみ」について検討していくことを決定。	・第2層協議体において、「町内会における共助体制のしくみ」について検討。	

3. みんなが安心・安全に暮らせる地域づくり（安心・安全部・ネットワーク部）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	平成30年度実績	2019年度の取り組み	
地域住民の緊急時の対応体制の構築（緊急時連絡カードの配布・更新）	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「緊急時連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●更新時期：12月	・町会と連携し、定期的な更新の継続に努める。	【取り組み状況】 ・12月16日（日）推進委員会で依頼	・カードの記入内容の修正を含め継続。
	ネットワーク部	海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「医療・災害時緊急連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●更新時期：10月	・町会と連携し、定期的な更新の継続および転入・転出に伴う実状把握に努める。	【取り組み状況】 ・10月13日（土）推進委員会で依頼	・カードの記入内容の修正を含め継続。

	養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「緊急時連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●更新時期：9月	・町会と連携し、9月の「防災の日」に合わせ、更新を行うことにより、防災への意識付けにつなげるよう努める。	【取り組み状況】 ・9月の防災訓練合わせ7月8日（日）推進委員会で依頼	・カードの記入内容の修正を含め継続。	
	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	災害時や突然の救急・救命時など大切な生命に関わる緊急対応として「緊急時連絡カード」と「保管筒」を全戸へ配布し、定期的に更新を実施。 ●町会単位で随時見直し	・町会と連携し、定期的な更新の継続に努める。	【取り組み状況】 ・7月8日（日）推進委員会で依頼	・カードの記入内容の修正を含め継続。	
子どもの安全・安心を守る活動の推進 （登下校の見守り・あいさつ、声掛け活動）	ネットワーク部	市西小学校区小域福祉ネットワーク	継続	・登校時の見守り活動 週1回小学校児童の登校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。 ・下校時の見守り活動 散歩時を利用した見守り活動を随時実施。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・登校時（毎週水曜日実施） 1,494名参加 ・下校時（随時実施）：980名参加	・現状の取り組みを継続
		海上小学校区小域福祉ネットワーク	継続	登校時の見守り活動 原則月1回以上小学校児童の登校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・毎月第一水曜日実施	・現状の取り組みを継続
		養老小学校区小域福祉ネットワーク	継続	登校時の見守り活動 原則月1回以上小学校児童の登校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。	・現状の取り組みを継続	【取り組み状況】 ・年16回実施（原則月1回以上） 624名参加	・現状の取り組みを継続
		光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	登下校時のあいさつ、見守り活動 毎日の小学校児童の登下校時の安全確保に努めるとともに、あいさつの励行を呼びかける。また、戸田小学校区小域福祉ネットワークと協働により、月2回中学校内のパトロール、下校時のあいさつ見守り活動を実施。	・現状の取り組みを継続に併せ、見守り員の募集を広報紙等で呼びかけ担い手の確保に努める。	【取り組み状況】 ・下校時の挨拶見守り活動 ⇒全登校日実施 ・双葉中学校の見守り支援 ⇒月2回実施（第2・4水曜日）	・現状の取り組みを継続
地域の安全を守る活動の推進 （防犯パトロール）	ネットワーク部	光風台小学校区小域福祉ネットワーク	継続	「光風台団地内迷惑路上駐車追放運動」として、警察官を交えた合同パトロールを実施	・路上駐車は事故原因にもつながる為、現状の取り組みの継続に努める。	【取り組み状況】 ・光風台小学校区小域福祉ネットワークの地域一般グループで年5回実施をする 【課題等】 ・町会長の意識が低く、参加率が低下している。	・会議の場や広報誌で繰り返し周知し理解を広げながら、現状の取り組みを継続
災害時の助け合い活動の意識啓発、災害に強い地域づくり （災害支援ボランティア事業）	安心・安全部		継続	自ら考え・学び・行動する「地域住民主体の防災」への意識を転換できるよう勉強会を実施。	・地域住民主体の防災に向け、避難所立上げ訓練や運営訓練等、実務的な訓練へ繋げる	【取り組み状況】 ・2月13日（水）参加者23名 ・内容：DIG訓練（図上訓練） 【課題等】 ・地域の防災に対する関心が低く、知識も少ない。	●災害支援ボランティア事業 ・防災意識を更に啓発するために、勉強会を継続する。 ・町会長はじめ、より多くの地域住民にも参加してもらうよう検討。

4. みんなの顔がつながる、取り組む為の連携と基盤づくり（連携・基盤づくり部・ネットワーク部）

取り組み・事業名	活動主体	新規 継続	事業目的及び内容	今後の取り組みの方向性	平成30年度実績	2019年度の取り組み
地域の特性に則した福祉活動を推進するための地区行動計画の具現化 （地区行動計画の推進）	連携・基盤づくり部	新規	地域住民やその地域にある組織・団体等関係者が、地域課題や地域づくりの目標・方策を共有し、同じ方向を向いて地域福祉の推進を図る。	・計画に基づいた活動の進捗状況の検証、また、結果を振り返ることにより課題を明らかにするとともに、次の活動へ繋げる。	【取り組み状況】 ・7月19日、三和地区行動計画推進委員会発足 ・12月20日の三和地区役員会で各部長へ「三和地区行動計画進捗状況シート」を配布 ・H31年1月17日の役員会で進捗状況シートを回収	●地区行動計画推進委員会 ・行動計画の見直し、修正を含め行動計画の推進に努める。 ・年に1,2回開催する。

					<ul style="list-style-type: none"> ・H31年2月19日に「三和地区行動計画推進委員会」を開催。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容には、抽象的なところがあるため「各部会」及び「地区行動計画推進委員会」で、出来る限り具体的な内容とする必要がある。 	
小域・中域福祉圏域の連携・協働体制の強化 (連携・協働体制づくり事業)	ネットワーク部	継続	小域福祉ネットワーク(小域福祉圏域)間の情報や課題の共有また、ネットワーク同士、地区社協(中域福祉圏域)との情報の共有、連携・協働体制を構築するために会議を定期開催する。	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の情報や課題の共有、また、課題解決に向けた方策を協議することにより、相互理解と連携体制の強化に繋げる。 	<p>【取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月20日「ネットワーク連絡会議」を開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続実施し、相互理解と連携体制の強化に繋げる。
担い手の発掘と育成 (人材育成事業)	連携・基盤づくり部	継続	地域福祉活動に取り組む新たな担い手となる人材の発掘や育成に向けた取り組みを推進する。 ・他機関が開催する研修会への参加等	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協事業に住民(ボランティア)の参画を呼びかけ、担い手の発掘に繋げていく。 	<p>【取り組み状況】</p> <p>人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、部会で検討中であるが以下の意見がある ① 三和地区社協の組織に{青年部}をつくり、積極的に若い層の意見を取り入れる。 ② ボランティア活動では、早期のうちに次期責任者等の後継の意識を持たせる。 <p>どのようなボランティアに関心があるか、アンケート等で調査し、フォローする。・部会内で事業の内容について検討。</p> <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、部会で担い手の発掘、育成について検討しているが有効な方法がない。 <p>研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇親会 5月25日 30名参加 ・理事研修 2月13日 災害支援ボランティア事業 23名参加 ・外部研修への参加 	<p>人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会で出ている意見を継続検討。 <p>研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ●懇談会 5月25日理事会後 会場：検討中 ●理事研修 災害支援ボランティア事業 ●外部研修への参加
活動財源確保 (賛助会員制度)	連携・基盤づくり部	継続	地区社協が行う地域福祉活動・事業の充実・強化を図るための財源確保のため「賛助会員」制度の維持を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係組織・団体に広報紙やチラシを町会回覧し、地区社協活動・事業の周知、理解の促進を図る。 ・地区社協理事が所属する団体への会員募集の働きかけを強化する。 	<p>【取り組み状況】</p> <p>賛助会費</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賛助会費受領 <ul style="list-style-type: none"> ・278件 (H29:216件) ・515,000円 (H29:412,000円) ○用途予定 <ul style="list-style-type: none"> 防災テント(予算:30万円) 備品収納庫(予算:20万円) ○お礼と報告を兼ねるとともに、賛助会員制度の周知を図るため、H31年2月発行の「さわかせ」に結果の一部を掲載した。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員募集の依頼においては、市社協住民会員(1戸あたり200円)と地区社協賛助会員との差別化の徹底を促す。 ・募集活動は担当理事の負担になっている。 	<p>賛助会費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛助会員制度の維持を図る。 ・会員募集時には賛助会員制度について根気強く説明する。 ・募集担当者の負担軽減と募集担当地域の全住民への周知を目的に、町会の回覧で賛助会員加入の意思、加入した際の氏名公表等について確認しておく。 ・理事不在の町会については募集活動に賛同していただける民生委員の方に依頼してもよいが最終的には地区社協役員が責任をもって受け持つ。 ・募集時には申込者へのお礼として、前年度と同様にタオルを配布する。 ・会員名の公表については、引き続き検討する。 ・予算の用途を明確にする。 <p>その他、具体的な募集方法については、時期をみて決める。</p>

					<ul style="list-style-type: none"> ・募集担当者には、担当地域の全ての住民に対して会員募集する時間がない。 ・町会毎に募集担当理事を決めたが、理事不在の町会が生じた。 ・理事不在の町会においては民生委員に募集を依頼せざるをえなくなり、地区社協の自主性が損なわれたのではないか。 ・全会員名の公表には賛否がある。 <p>自主財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サンハートまつり 1月27日 15名参加 売上利益 8,048円 	<p>自主財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サンハートまつり 1月26日 内容は検討中
--	--	--	--	--	--	---